

# Abstract

## **Renovation of historic structure utilized townscape -A study in Guntyu district, Iyo city, Ehime Prefecture-**

Infrastructure Systems Engineering Course  
1185097 Miku Okazaki

By this master design, I design the renovation of historic structure utilized townscape. As content, I do an inventory survey and a plan of the district in Guntyu district, Iyo city. I design the model of historic structure targeted for a renovation based on it. And I settle result and a problem.

## 修士設計要旨

### 歴史的まち並みを活かす町屋のリノベーション ー愛媛県伊予市郡中地区を例としてー

社会システム工学コース  
1185097 岡崎未来

修士設計対象地区の伊予市郡中地区は、私の出身地に隣接する市でもあり、母校があるまちでもある。郡中地区の歴史は、約 380 年前（1636 年）からはじまる。大名ではなく豪商が自立的に形成した全国でも珍しいまちであり、極めて特異な地割をしており、最大で 60 間、およそ 107m の奥行きがある。町家の地割としては日本でも有数の広さである。また、江戸ー明治ー大正ー昭和と、時代の節目ごとの建物が残っており、擬洋風建築も残されている。しかし、空き家や空地が目立つようになり、歴史的まち並みを阻害する新築が立ち並ぶようになってきた。

郡中地区の町屋等は、歴史的建造物としての価値が高く、郡中地区のまちづくりにとって重要な資源である。しかし、保全・活用がされていない。そこで、郡中地区を例にして、リノベーションまちづくりを提案する。その 1 つは、郡中地区の歴史的まち並み再生計画の作成であり、もう 1 つは、4 邸の歴史的町屋のリノベーションのモデル設計の提案である。

郡中地区の町屋は、3 つの類型に分類できるため、それらの類型それぞれにモデルプランを提案する。保全の方法としては、リノベーションを用いる。方針は、嫌なものを取り除き、そこに出現した良いものを守り、その良いものを利用しつくすである。リノベーションの規則性を利用しながら、歴史的まち並みを活かすために町家を魅力あるものとし、現代に活用する。